

平成 1 8 年度

町長施政方針



「人と自然がやさしくとけあい、
未来に輝くふるさと猪名川」
の実現に向けて



猪 名 川 町

目 次

【基本方針】	1
【各施策・事業について】.....	5
[誰もが生き生きと安心して暮らすことができる 健康福祉のまちづくり]	5
[人や文化とふれあいながら、自分らしく生きる 心と体を育む教育文化のまちづくり]	8
[豊かな自然と共生する、 魅力ある都市環境を築くまちづくり]	10
[質の高い生活を実現する、 安全で快適なまちづくり]	12
[都市近郊の地域資源を活かし、 交流に支えられた産業のまちづくり]	15
[まちづくりの実現に向けて]	16

第330回猪名川町議会定例会の開会にあたり、議員各位のご健勝を心からお喜び申し上げますとともに、平素よりのご精励に対し、深く敬意を表する次第であります。

本日、平成18年度の当初予算案をはじめとする関連諸議案を提案するにあたり、私の町政に取り組む所信を申し述べ、議員各位をはじめ住民の皆さまのご理解とご支援を賜りたいと存じます。

昨年12月には月平均気温が20年ぶりの低温となり、日本海側を中心に記録的な大雪となりました。

これにより除雪作業に自衛隊を派遣するなど、近年に例を見ない状況となっており、多数の死者、重軽傷者が出ております。不幸にも命を落とされた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

さて、我が国の経済は、緩やかながら景気は回復傾向にあり、デフレからの脱却の兆しは見られるものの、少子化、高齢化は着実に進行しており、これに伴う財政負担は増加傾向にあるなど、依然として厳しい財政状況にあります。

一方、町の財政状況を見てみますと、歳入の大きな柱となっている町民税につきましては、地方税法の一部改正などにより

増加が見込めるものの、固定資産税につきましては地価の下落の影響などから減収となるなど厳しい財政状況となっております。

このような状況ではありますが、本町においては合併せず、単独での行政運営が望ましいと判断し、本町自身を地域自治組織として、また基礎的自治体として、今後さらに複雑多様化する行政課題の解決に取り組むとともに、国が示しております新地方行革指針に基づき、職員定数や給与の適正化、指定管理者制度の導入による民間委託の推進など、行政全般にわたる改革を積極的に進め、地域の特色を活かし、創意と工夫を凝らしながら、愛着のもてるまち、住んでよかったと思えるまちづくりに取り組んでまいります。

去年は、町制施行50周年という記念すべき節目の年として、記念式典をはじめ、全国川サミットやNHKのど自慢の開催など、多様な記念イベントを実施し、住民の皆様とともに祝ってまいりました。

新年度は、新たな半世紀への第一歩であるとともに、私の3期目のスタートとして新たな気持ちで町政を担っていく年でも

あります。

このことから、第四次猪名川町総合計画後期基本計画に基づき、本町の特性である豊かな自然や、銀山地域をはじめとする貴重な歴史遺産を町内外に広くPRするための散策路や資料館を整備するとともに、自然再生、環境保全などの分野で相互に協力して地域の自然環境を守っていくため、新たに県立人と自然の博物館と包括的連携の協定を結び、清流猪名川を取り戻そう町民運動を始めとした取り組みのさらなる推進を図るなど、自然環境と調和したまち、「人と自然がやさしくとけあい、未来に輝くふるさと猪名川」の実現に向けた魅力あるまちづくりに、住民の皆様方とともに手を携えて取り組んでまいります。

さらに、新年度には、安全で安心なまちづくりに向けた取り組みを推進するための組織を強化し、住民の皆様方に憩いと安らぎを与える施策の推進に取り組んでまいります。

安全で安心なまちづくりに向けては、「参画と協働の仕組みづくり」をはじめ、「地域担当職員制度の充実」「子育て支援の充実」「高齢者の健康増進対策」「団塊世代の新たな生きがいづくり」「地域の自主防災力の向上」など様々な課題が山積してお

ります。

これらの課題を解決するためには、これらを一体的に捉えた施策の推進が必要であることから、新年度において地域住民のニーズを的確に把握するための「(仮)地域コミュニティ担当」を新設し、地域住民と行政とのパートナーシップを構築することにより、職員が住民の立場、目線に立った施策を推進し、住民の皆様方とともにまちづくりを行ってまいります。

また、高齢者や障害者の外出支援として、70歳以上の方と身体・知的・精神障害の手帳所持者に対して、ふれあいバス乗車運賃の無料化を実施いたします。

環境面につきましては、本年度に設置した「清流猪名川を取り戻そう流域同盟」参画市町とのさらなる連携を図り、猪名川に寄り添うまちとして、先人から受け継いだ豊かな自然を守り、これを次世代に引き継ぐため、流域住民の参画と協働を得る中で、私たちの生活に潤いを与えてくれる猪名川の河川環境の改善に取り組んでまいります。

また、広域的な連携につきましては、現在1市3町における広域ごみ処理施設建設において広域での取り組みを行っており

ますが、さらに阪神北部3市1町におきましても、かねてから懸案となっていました広域小児救急医療施設については伊丹市において設置することとして、新年度に実施設計を行う運びとなりました。その運営形態など具体的な事項については現在、設置主体となる伊丹市、宝塚市、川西市とともに協議を進めており、早期の開設を目指して取り組んでまいります。

さらに消防分野におきましては、消防・救急無線のデジタル化への移行などにより、高度なシステムが必要となることから、川西市消防本部との共同運用に向けた協議を進めるとともに、近年の災害の多様化、大規模化に迅速かつ的確に対応するには本町の消防力では限界があることから、川西市消防本部との広域化に向けた調査研究を進めてまいります。

それでは、このような方針のもと編成いたしました新年度の各施策・事業について、総合計画の施策の大綱に沿ってご説明申し上げます。

まず、『誰もが生き生きと安心して暮らすことができる健康福祉のまちづくり』に関する施策であります。

本年度に整備いたしました「(仮称)福祉の道」につきましては、新年度から供用開始し、高齢者や障害のある方などを中心に、散策しながら楽しく健康づくりや機能回復訓練が行えるように広く役立ててまいります。

子育て学習センターにつきましては、これまでは子育てグループの育成を中心とする取り組みを行ってきましたが、今後はさらに子育て支援の充実を図るべく、専任管理者をおき、子育て相談業務の充実を図るとともに、子育て経験者によるボランティアの育成などを行ってまいります。

また、昨年度に策定しました「いなっこきらきらプラン(猪名川町次世代育成支援行動計画)」に基づき、新年度には子育て支援ホームヘルパー派遣制度を新設し、産後の家事援助を行うことにより、負担の軽減を図ってまいります。

さらに、子育てと仕事の両立を支援する「留守家庭児童育成室」につきましては、保護者が安心して利用できるよう、各育成室の開所時間の延長を行うとともに、育成室の施設を順次整備してまいります。

介護保険制度につきましては、昨年に介護保険法が改正され、

介護予防を重点課題とした新たな予防給付や地域支援事業が創設されたことに伴い、本年度に第３期「介護保険事業計画」を策定いたしました。

今後は、この事業計画に沿って、介護予防の包括的かつ継続的なケアマネジメントを行う地域包括支援センターの運営を町社会福祉協議会に委託し、介護予防事業等との連携を図りながら、要介護認定者の増加や重度化の抑制に努めてまいります。

また、平成１８年度で計画期間の満了となる「猪名川町障害者福祉プラン」につきましては、新年度から「猪名川町障害者基本計画及び障害者福祉計画」の策定に着手するとともに、新たにスタートする障害者自立支援法に基づく取り組みを推進してまいります。

誰もが健康で充実した生活を送るためには、住民の方々自らが健康の大切さを意識していただくことが最も重要であり、そのために、新年度から地域ぐるみでの健康づくりの推進役となるリーダーを育成してまいります。

また、満２０歳から７０歳までの１０歳ごとの節目の方を対象に歯科検診を実施し、健康の基本となる歯の健康に努めてま

いります。

続きまして『人や文化とふれあいながら、自分らしく生きる心と体を育む教育文化のまちづくり』に関する施策であります。

学校施設につきましては、耐力度不足による校舎改築を計画しています楊津小学校及び大島小学校につきましては、新年度より施設整備工事を進めるほか、猪名川小学校及び松尾台小学校の校舎耐震補強工事などを実施してまいります。

また、つつじが丘住宅地や猪名川パークタウンにおける就学児童・生徒の増加に対応するため、つつじが丘小学校及び白金小学校の校舎増築事業を実施してまいります。

さらに、幼稚園教育につきましては、つつじが丘住宅地への若年世帯の転入に伴い就学前の児童数が急増していることから、期間を概ね10年間として「つつじが丘幼稚園」を新年度より開園いたします。

また、本年度から取り組んでいます新しい猪名川の教育構想「わくわくスクールプラン」に基づき、「確かな学力の向上」、「心の教育の充実」及び「たくましい体力づくり」を目的とし

て、就学前教育から中学校までの一貫教育を核とした取り組みを推進してまいります。

特に、小学校低学年における基本的な生活習慣の確立や、中学校における不登校の問題など今日的な教育課題に対応し、校種間のスムーズな移行ができるよう、幼稚園・保育園から小学校・中学校へと連続した視点で子どもを見守り育てる必要があり、一貫カリキュラムの実践研究を中心として、幼児・児童生徒はもちろんのこと、教員も含めた相互の交流・連携を図ってまいります。

さらに、児童生徒の基礎学力の向上を目的とする「スクール・サポーター」、総合的な学習の時間などにゲストティーチャーとして参画していただく「いきいき学校応援団」、中学校の部活動における技術指導をお願いする「部活動指導補助員」など、学校園に地域住民の教育力を積極的に導入してまいります。

社会教育につきましては、社会の成熟化、国際化、情報化の進展に伴い、学習ニーズの多様化、高度化が進んでいることから、家庭や地域の教育力向上のため、公民館やふるさと館において文化、自然、環境などをテーマにした講座を展開し多様な

学習機会を提供してまいります。

図書館につきましては、子どもの頃から本と出会う機会づくりとして、乳幼児向けの絵本紹介冊子を作成し、保健センターとの連携により乳幼児検診などの機会を捉えて読み聞かせを行うなど、次世代育成支援のための取り組みを行ってまいります。

新年度に開催する第61回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」レスリング競技を成功させるため、本年度開催しましたリハーサル大会の検証を踏まえ、「夢と感動を与える国体」を合言葉に全国から訪れる方々と感動と歓びを分かち合える大会となるよう進めてまいります。

多田銀銅山史跡につきましては、新年度から3カ年にわたる遺跡の詳細分布調査を実施し、大学等の専門調査機関と連携する中で、国の史跡指定に向けて取り組んでまいります。

続きまして『豊かな自然と共生する、魅力ある都市環境を築くまちづくり』に関する施策であります。

第二名神自動車道建設計画につきましては、用地買収6車線、工事施工暫定4車線で行う計画で地元設計協議が進められるこ

とから、地元混乱を招くことのないよう地区対策協議会及び地元自治会と十分調整を図り対応してまいります。

町道の整備につきましては、引き続き木間生旭ヶ丘線の整備に取り組むとともに、清水仁頂寺線において中学生や高校生の自転車通学の安全を図るため、県道から薬師橋までの交差点部の2車線化と自転車歩行車道の設置工事を実施してまいります。

また、県道川西篠山線北田原から万善までの工区の道路改良及び大島小学校から尾花橋までの歩道設置工事の継続実施、並びに木間生旭ヶ丘線に係る交差点改良が早期に事業化されるように県に要望活動を行ってまいります。

さらに河川につきましては、兼ねてから冠水による災害が多い箇所につきまして、護岸整備が行われるよう県に要望活動を行ってまいります。

我が国は、世界有数の地震多発国で、しばしば大地震が発生し大きな被害を受けるとともに、異常気象による渇水も毎年のように起きています。こうした地震・渇水時においても安定的に飲料水の供給を行っていくため、老朽化した施設の更新や水道監視制御システムの新たな構築を図ってまいります。

また、防災拠点となりうる水道庁舎を建設し、施設の統合を図り、さらなる経費の節減と料金徴収の民間委託など効率的な経営に努めてまいります。

下水道事業につきましては、面整備も終了し、今後は施設の老朽化に伴う維持補修など適正な維持管理に努めてまいります。

また、新年度から下水道処理区域外の浄化槽の維持管理に公的管理制度を導入し、公共用水域の保全と設置者の負担の軽減を図ってまいります。

続きまして『質の高い生活を実現する、安全で快適なまちづくり』に関する施策であります。

本町の豊かな自然環境を保全し創造するため、本年度、環境基本計画を策定いたしました。今後は、この計画に基づき住民・事業者・行政の役割を明確にする中で、環境の保全等に取り組んでまいります。

広域ごみ処理につきましては、本年度から造成工事及び施設建設工事を実施し早期完成を目指してまいります。

また、ステーションへのごみ出しが困難なひとり暮らし高齢

者や障害者に対して引き続きふれあい収集を実施し、安否確認と自立した生活を維持できるよう支援してまいります。

不法投棄対策につきましては、本年度監視カメラを設置したことにより不法投棄抑止効果があったことから、引き続き設置するとともに監視パトロールを強化するなど、不法投棄の根絶を目指してまいります。

防犯対策につきましては、登・下校時に子どもが凶悪事件の被害者となる事件が多数発生しており、本町においても、不審な声かけ事犯や、盗撮事犯に巻き込まれているケースが発生しております。

このことから、地域安全推進協議会を中心に、川西警察署、川西防犯協会などとの連携を強化し、地域の住民同士が連帯感をもって「地域の安全は自分たちで守る」ということを基本に、地域犯罪の防止に努めてまいります。

防災対策につきましては、新たに衛星携帯電話2台を購入し町内の携帯電話不感地域での災害発生時の対応に努めるとともに、小学校区単位の防災訓練を、新年度は猪名川小学校において、自主防災組織を中心にしながら、住民の方々にとって身近

な体験型形式での訓練を行ってまいります。

さらに、下水道管に直結できる緊急災害用トイレを購入し、防災用として備えることといたします。

また、武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律が施行されたことに伴い、国・県の計画と整合を図りつつ本町の実情にあった国民保護計画を作成してまいります。

また、新たにA E D(自動体外式除細動器)を町内の幼稚園、小・中学校などを含む不特定多数が利用するすべての公共施設に設置するとともに、民間施設についても設置に向け啓発してまいります。

さらに、初期の応急手当が人命救助にとって非常に重要であることから、A E Dの使用を含めた救急講習会を随時実施し、応急手当を広く普及させることによって、救命率の向上に努めてまいります。

消防団につきましては、小型動力ポンプ付積載車1台を更新するとともに、各分団において水防用の土のうを配備し、地域の消防力の向上に努めてまいります。

消費生活につきましては、特に近年では年代を問わず携帯電

話を利用した不当請求や架空請求が急増するなど、その手口はますます巧妙化、悪質化してきています。

このことから、消費生活アドバイザーによる相談日を週２回から週３回に増やすとともに、出前講座の実施、広報紙による事例の掲載など、被害の未然防止に努めてまいります。

続きまして『都市近郊の地域資源を活かし、交流に支えられた産業のまちづくり』に関する施策であります。

農業生産基盤である農地の整備を進めるため、笹尾地区のほ場整備事業を進めるとともに、新たな担い手である集落営農組織の育成に取り組んでまいります。

また、米づくりの本来あるべき姿の実現に向けて、米政策改革大綱に基づき、米の需給調整については、平成１９年産から水田における品目横断的な経営安定対策の導入と併せ、これまで行ってきた行政による配分から農業者・農業者団体が主体となった、自らの販売戦略に即した生産を実行していく需給調整システムへ円滑に移行できるよう、新年度に条件整備等について検証することとしております。

さらに、中小商工業者の育成と経営基盤強化を図るため、農林商工業振興資金貸付制度を見直し、中小企業振興資金融資あっ旋制度へ移行いたします。

本町は、阪神大都市圏に位置し、豊かな自然資源に恵まれていることから、これらの四季折々の自然環境を求め、多くの人が大野山や多田銀銅山跡、近畿自然歩道の散策などに訪れています。

このため、近畿自然歩道に加え、昨年度から整備を進めております歴史街道整備事業における散策路の修景整備、(仮称)銀山資料館の建設、さらには本町独自の観光ガイド認定に向けた育成事業など、新年度中には全ての準備が整うことになり、すばらしい自然や歴史とロマンにあふれたまち猪名川町を内外に発信してまいります。

最後に『まちづくりの実現に向けて』に関する施策であります。

情報化への取り組みにつきましては、県下の自治体と共同で電子申請システムの構築に取り組み、本年3月より第1次運用

を行います。今後も情報セキュリティの確保を図りながら、各種申請、手続等の電子化を進め、住民のさらなる利便性の向上に努めてまいります。

また、携帯電話不感地域につきましては、町内全域で通話が可能となるよう事業者への要望を行ってまいります。

さらなる職員資質の向上につきましては、限られた人員の中で引き続き適正な職員配置に努め、職員一人ひとりが最大限の能力が発揮できる体制づくりを推進し、研修を通じ職員の資質と能力の向上や全体の奉仕者とし意欲を持って新しい時代のニーズに対応できる人材育成に努めてまいります。

地籍調査につきましては、継続調査の紫合、北野地区を引き続き行うとともに、新規調査地区として上野地区を対象に着手してまいります。

また、新年度から新たに三田市を加えた阪神北地域という枠組みの阪神北部広域行政推進協議会で活力と魅力にあふれた広域的な地域づくりを推進してまいります。

以上述べました基本方針をもとに、編成いたしました新年度

予算は、

一般会計 『 9 1 億 9 , 5 0 0 万円 』

特別会計 『 6 3 億 3 1 5 万 1 千円 』

企業会計 『 1 2 億 9 2 9 万 8 千円 』

総 額 『 1 6 7 億 7 4 4 万 9 千円 』

であります。

これら各予算の執行にあたりまして、私は与えられた職責に深く思いをいたし、清新の意気込みをもって、住民の皆さまの幸せのために、職員と一丸となって取り組んでまいる所存であります。

議員各位ならびに住民の皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、新年度予算案をはじめとする関連諸議案にご賛同賜りますようお願い申し上げます。



のじぎく兵庫国体
マスコットキャラクター：はばタン

2006

のじぎく兵庫国体

“ありがとう”心から・ひょうごから

猪名川町はレスリング競技の開催地です。

競技会期：平成18年10月1日（日）～4日（水）